

する方式にしている。また、メールによるデータ検索も可能である。メール & FTP 方式は SELENE 解析系で共通化しており、Perl で記述されたセンター内ユーザシステム用ソフトウェアとしてサンプルプログラムを準備して、ユーザの利便性向上を図っている。

各研究機関で高次処理した校正済みのデータは、L2 プロダクトとしてセンター内ユーザシステムからメール & FTP 方式で L2DB サブシステムに登録、保存される。ノミナルミッション期間中は、L2DB サブシステムに約 30[TB] の L2 プロダクトが蓄積される予定であり、そのうち、LISM データはデータ量の大半を占める。L2 プロダクトは、データと PDS (Planetary Data System) フォーマット相当のメタデータを含むラベル、L2DB・公開系システム管理用のカタログ情報ファイルの他、画像データについてはサムネイル画像を tar 圧縮したファイルであり、データ量が大きい LISM プロダクトについては最新版のみの管理になるが、他のプロダクトについては 2 世代まで管理することができる。L2DB・公開系システムは、SELENE 用に新規に整備したものであり、SIRIUS との互換性はないが、L2DB サブシステム（データ保存・管理設備、媒体提供設備）と公開系サブシステム（データ公開設備）から構成され、保存されたプロダクトの SELENE プロジェクトチーム内での相互参照や PDS 格納形式に準拠した媒体作成を可能にするとともに、各観測機器の公開用データや SPICE カーネルを、ノミナルミッション終了 1 年後からを予定している一般公開以降、SOAC 内の WWW サーバ装置、FTP サーバ装置を經由してオンラインで注文、提供することができる。画像データについては、データの切り出しや地図投影法の変換処理も可能になっている。公開系 Web ページでは、観測機器/処理レベル/プロダクト種、観測日時、緯経度、バージョンなどの条件検索を用いて取得するデータが選択できる。公開系サブシステムでのデータ取得時の条件設定画面の例を図 2、3 に示す。

宇宙研計算機、ネットワークに関するお知らせ

三浦 昭 (PLAIN センター)

●解析サーバ、相模原ネット関連

利用案内、申請方法：

解析サーバ

http://plain.isas.jaxa.jp/ana_servers/
ネットワーク利用

<http://www.pub.isas.jaxa.jp/>（相模原ネット内限定）

申請受付：計算機室 山本 (RN. 2103, 内線 8388)

下記の各申請を受け付けています。



図 2: 「かぐや」公開系 Web ページでのプロダクト検索画面

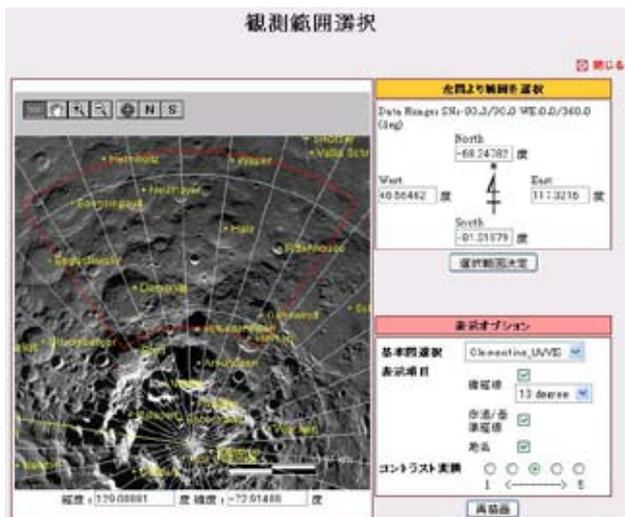


図 3: 「かぐや」公開系 Web ページでの観測範囲選択画面

3. 結び

「かぐや」の初期機能確認の一環としてのデータ取得は始まったばかりである。今後、各観測機器の研究機関でデータ処理、解析が行われ、ノミナルミッション終了 1 年後からは、SOAC 公開系サブシステムからデータ公開が予定されている。

- ・ ISAS ドメインメールサービス
- ・ 解析サーバ (ISAS 内)
- ・ 相模原ネット接続等

計算機等利用上の質問・トラブルなどはシステム・プログラム相談室 (RN 2113・内線 8391) 迄、ネットワーク関係の質問・トラブルなどは PLAIN センター本田秀之 (RN 7306・内線 8073)、長木明成 (RN 2101・内線 8386) 迄お願いします。

編集発行：宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部 宇宙科学情報解析センター (PLAIN センター)

〒229-8510 相模原市由野台 3-1-1 Tel. 042-759-8351 住所変更等 e-mail: news@plain.isas.jaxa.jp

本ニュースはインターネットでもご覧になれます。 <http://www.isas.jaxa.jp/docs/PLAINnews>

●編集後記：今年度後期は大学 1、2 年生向けに宇宙科学の講義をしています。学生時代落ちこぼれだった僕はわかりやすい講義を心掛けていますが、18 歳、19 歳の子供たちに、どこまで研究の面白さを伝えることができるか。。。 (K. E.)